





日十二月一年七和昭

(日八月一十年二十正大) 可認物便類第三

## 冬のチブス御用心

夏季の専賣特許でない  
冬季は危険率甚だ多い

### 平役場が躍ツ起

夏の流行とばかりかんがへ  
られてゐる陽チブスは驚異  
來平町に患者がボツボツ發  
生し目下四名の患者が隔離  
舍に收容されてゐるが時節  
柄正月の不衛生の醉氣分に  
まかせて暴飲暴食すること  
感冒にからぬやうに注意  
しての用心書を町役場より  
市中に配布徹底的撲滅に勤  
める筈である

### 濱の眞砂子か 盡きぬ犯罪

### 最も多いは窃盜

平警察署に於ける昨年中に  
於ける犯罪件數は司法處分  
一千九百八十二件、即決處分  
二千九十一件に達して居り司  
法處分中最も件数の多いの  
は窃盜の七百卅四件と詐欺  
の二百七十八件であると、  
尚犯罪の内訳は左記の如く  
である

金六一・縣令違反二一四  
其他一〇四

### 産業博の上棟式

### 来る二十八日に

昭和産業博覽會は既記の如  
く諸般の設備着々進行し各  
基本建築何れも上棟したる  
を以つて來る廿八日町會議  
員、區長、消防幹部、商工

泉青年慰問金 石城  
郡泉村驛前青年團三十三名

より其筋に送付し吳れと同  
村役場に申出た

は平素團員の努力に因り蓄  
積したる基本金の内金十圓  
を下戻し満洲駐劄軍に慰問  
て送付方同村役場に申出た

二月頃十九夜觀世音講を組  
織し爾來今に亘る毎月十  
九日を期して信仰しつゝあ  
りしが其賽錢七圓に達せり  
之れを満洲事變に參加せる  
皇軍の身命も惜まず苦戦し  
つゝあるを痛感し慰問とし  
て送付方同村役場に申出た

の賽錢六圓三十六錢を其儘  
に蓄積し之れを満洲軍の慰  
問として金二圓三十六錢、  
青森岩手兩縣の凶作地に金  
二圓づつ送付方を去る七日  
同村役場に申し出た

## 一矢山竹 廿一日公判

石城郡平塙村大字中平字古  
館廿八番地新妻道雄(三)が  
石城郡上小川縣道に於て大  
平明光外一名を金槌を以て  
殴打し傷害を加へた事件は  
に依頼し不服を申し立てた  
事既報の如くであるが此れ  
が公判は來る廿一日午前十  
時より竹内檢事係り市川檢  
事立會ひ大嶺辯護士列席の  
上開延されると

### 寄篠な觀世音講

### 今晚の部

### 明日の部

### 作

## 明日のアラモ

朝豫氣天  
西の風晴

今晚も明日北  
後六〇〇五琵琶「安宅の  
關」片山旭都

後二五〇運動競技「加  
奈陀ラグビーレ試合狀況」  
後七三〇講演「八甲田  
歐漫話「東京帝大助教授  
西澤勇志智」

後八〇〇三曲名流大會  
山遭難し回顧「歩」第五  
聯隊附歩兵中佐砂川泰  
後九〇五連續二人漫談  
〔九三二年風景〕三徳川  
渡邊ナミ七名は大正十一年  
ムメ、鈴木ミヨ、渡邊エエ  
童話「農谷小波」  
後七〇〇滿蒙事情特別  
講座「日本と滿蒙」中野正  
剛

前九一〇料理献立「全  
糸山薬」四ヶ倉野男  
ユース氣象通報番組豫

前一〇三〇家庭講座「  
無病者の健康法」竹分茂

川夢聲「古川綠波」  
後九四〇時報「全國ニ  
〔九三二年風景〕三徳川  
湯聲「古川綠波」

## 七百圓通帳窃取

### 平時業経の所報告

### 求人の部

### 店

### 人

### 部

### 作

### 後〇〇五琵琶「安宅の 關」片山旭都

### 後二五〇運動競技「加 奈陀ラグビーレ試合狀況」 後七三〇講演「八甲田 歐漫話「東京帝大助教授 西澤勇志智」

### 後八〇〇三曲名流大會 山遭難し回顧「歩」第五 聯隊附歩兵中佐砂川泰 後九〇五連續二人漫談 〔九三二年風景〕三徳川 渡邊ナミ七名は大正十一年 ムメ、鈴木ミヨ、渡邊エエ 童話「農谷小波」 後七〇〇滿蒙事情特別 講座「日本と滿蒙」中野正 剛

### 前九一〇料理献立「全 糸山薬」四ヶ倉野男 ユース氣象通報番組豫

### 前一〇三〇家庭講座「 無病者の健康法」竹分茂

### 川夢聲「古川綠波」 後九四〇時報「全國ニ 〔九三二年風景〕三徳川 湯聲「古川綠波」

### 作

### 後〇〇五琵琶「安宅の 關」片山旭都

### 後二五〇運動競技「加 奈陀ラグビーレ試合狀況」 後七三〇講演「八甲田 歐漫話「東京帝大助教授 西澤勇志智」

### 後八〇〇三曲名流大會 山遭難し回顧「歩」第五 聯隊附歩兵中佐砂川泰 後九〇五連續二人漫談 〔九三二年風景〕三徳川 渡邊ナミ七名は大正十一年 ムメ、鈴木ミヨ、渡邊エエ 童話「農谷小波」 後七〇〇滿蒙事情特別 講座「日本と滿蒙」中野正 剛

### 前九一〇料理献立「全 糸山薬」四ヶ倉野男 ユース氣象通報番組豫

### 前一〇三〇家庭講座「 無病者の健康法」竹分茂

### 川夢聲「古川綠波」 後九四〇時報「全國ニ 〔九三二年風景〕三徳川 湯聲「古川綠波」

### 作

### 後〇〇五琵琶「安宅の 關」片山旭都

### 後二五〇運動競技「加 奈陀ラグビーレ試合狀況」 後七三〇講演「八甲田 歐漫話「東京帝大助教授 西澤勇志智」

### 後八〇〇三曲名流大會 山遭難し回顧「歩」第五 聯隊附歩兵中佐砂川泰 後九〇五連續二人漫談 〔九三二年風景〕三徳川 渡邊ナミ七名は大正十一年 ムメ、鈴木ミヨ、渡邊エエ 童話「農谷小波」 後七〇〇滿蒙事情特別 講座「日本と滿蒙」中野正 剛

### 前九一〇料理献立「全 糸山薬」四ヶ倉野男 ユース氣象通報番組豫

### 前一〇三〇家庭講座「 無病者の健康法」竹分茂

### 川夢聲「古川綠波」 後九四〇時報「全國ニ 〔九三二年風景〕三徳川 湯聲「古川綠波」

### 作

### 後〇〇五琵琶「安宅の 關」片山旭都

### 後二五〇運動競技「加 奈陀ラグビーレ試合狀況」 後七三〇講演「八甲田 歐漫話「東京帝大助教授 西澤勇志智」

### 後八〇〇三曲名流大會 山遭難し回顧「歩」第五 聯隊附歩兵中佐砂川泰 後九〇五連續二人漫談 〔九三二年風景〕三徳川 渡邊ナミ七名は大正十一年 ムメ、鈴木ミヨ、渡邊エエ 童話「農谷小波」 後七〇〇滿蒙事情特別 講座「日本と滿蒙」中野正 剛

### 前九一〇料理献立「全 糸山薬」四ヶ倉野男 ユース氣象通報番組豫

### 前一〇三〇家庭講座「 無病者の健康法」竹分茂

### 川夢聲「古川綠波」 後九四〇時報「全國ニ 〔九三二年風景〕三徳川 湯聲「古川綠波」

### 作

### 後〇〇五琵琶「安宅の 關」片山旭都

### 後二五〇運動競技「加 奈陀ラグビーレ試合狀況」 後七三〇講演「八甲田 歐漫話「東京帝大助教授 西澤勇志智」

### 後八〇〇三曲名流大會 山遭難し回顧「歩」第五 聯隊附歩兵中佐砂川泰 後九〇五連續二人漫談 〔九三二年風景〕三徳川 渡邊ナミ七名は大正十一年 ムメ、鈴木ミヨ、渡邊エエ 童話「農谷小波」 後七〇〇滿蒙事情特別 講座「日本と滿蒙」中野正 剛

### 前九一〇料理献立「全 糸山薬」四ヶ倉野男 ユース氣象通報番組豫

### 前一〇三〇家庭講座「 無病者の健康法」竹分茂

### 川夢聲「古川綠波」 後九四〇時報「全國ニ 〔九三二年風景〕三徳川 湯聲「古川綠波」

### 作

### 後〇〇五琵琶「安宅の 關」片山旭都

### 後二五〇運動競技「加 奈陀ラグビーレ試合狀況」 後七三〇講演「八甲田 歐漫話「東京帝大助教授 西澤勇志智」

### 後八〇〇三曲名流大會 山遭難し回顧「歩」第五 聯隊附歩兵中佐砂川泰 後九〇五連續二人漫談 〔九三二年風景〕三徳川 渡邊ナミ七名は大正十一年 ムメ、鈴木ミヨ、渡邊エエ 童話「農谷小波」 後七〇〇滿蒙事情特別 講座「日本と滿蒙」中野正 剛

### 前九一〇料理献立「全 糸山薬」四ヶ倉野男 ユース氣象通報番組豫

### 前一〇三〇家庭講座「 無病者の健康法」竹分茂

### 川夢聲「古川綠波」 後九四〇時報「全國ニ 〔九三二年風景〕三徳川 湯聲「古川綠波」

### 作

### 後〇〇五琵琶「安宅の 關」片山旭都

### 後二五〇運動競技「加 奈陀ラグビーレ試合狀況」 後七三〇講演「八甲田 歐漫話「東京帝大助教授 西澤勇志智」

### 後八〇〇三曲名流大會 山遭難し回顧「歩」第五 聯隊附歩兵中佐砂川泰 後九〇五連續二人漫談 〔九三二年風景〕三徳川 渡邊ナミ七名は大正十一年 ムメ、鈴木ミヨ、渡邊エエ 童話「農谷小波」 後七〇〇滿蒙事情特別 講座「日本と滿蒙」中野正 剛

### 前九一〇料理献立「全 糸山薬」四ヶ倉野男 ユース氣象通報番組豫

### 前一〇三〇家庭講座「 無病者の健康法」竹分茂

### 川夢聲「古川綠波」 後九四〇時報「全國ニ 〔九三二年風景〕三徳川 湯聲「古川綠波」

### 作

### 後〇〇五琵琶「安宅の 關」片山旭都

### 後二五〇運動競技「加 奈陀ラグビーレ試合狀況」 後七三〇講演「八甲田 歐漫話「東京帝大助教授 西澤勇志智」

### 後八〇〇三曲名流大會 山遭難し回顧「歩」第五 聯隊附歩兵中佐砂川泰 後九〇五連續二人漫談 〔九三二年風景〕三徳川 渡邊ナミ七名は大正十一年 ムメ、鈴木ミヨ、渡邊エエ 童話「農谷小波」 後七〇〇滿蒙事情特別 講座「日本と滿蒙」中野正 剛

### 前九一〇料理献立「全 糸山薬」四ヶ倉野男 ユース氣象通報番組豫

### 前一〇三〇家庭講座「 無病者の健康法」竹分茂

### 川夢聲「古川綠波」 後九四〇時報「全國ニ 〔九三二年風景〕三徳川 湯聲「古川綠波」

### 作

### 後〇〇五琵琶「安宅の 關」片山旭都

### 後二五〇運動競技「加 奈陀ラグビーレ試合狀況」 後七三〇講演「八甲田 歐漫話「東京帝大助教授 西澤勇志智」

### 後八〇〇三曲名流大會 山遭難し回顧「歩」第五 聯隊附歩兵中佐砂川泰 後九〇五連續二人漫談 〔九三二年風景〕三徳川 渡邊ナミ七名は大正十一年 ムメ、鈴木ミヨ、渡邊エエ 童話「農谷小波」 後七〇〇滿蒙事情特別 講座「日本と滿蒙」中野正 剛

### 前九一〇料理献立「全 糸山薬」四ヶ倉野男 ユース

誰も彼もじつと硬くなつて重くるしい呼吸をつゞいた。  
と蓋をとりのけて、幽の中を覗き込んだ千代子の顔色は忽ちさつと變つた。懐たゞしい手がしきりと幽の内外に動いて、剝れた息づかいのもとに大きく瞳つゝが落つきもなくきよ

彼の女は黙つてその畳を  
目の前に直した。白いしな  
やかな手ですつと朱の房を  
解いた時に、人々の白熱化  
した瞳はことごとくその一  
点に注いだ。

さながら沙船はアーヴィングの騎馬のやうに意氣が昂つた。清作は、そつと千代子に口配せした。千代子は静かに席を立つた。後の棚に持てて來てあつた手ぬをとつて大卓子の上にのせた。その手ぬは余程時代のついた豪華な黒漆の色紙入れかなにかで、銀金具に長い朱の長が通つてゐた。

親族會議(7)

渡邊默禪作



丁巳歲仲夏

と千代子は泣き出しさうに震で、『無いのよ。見えないの小切の間にはさんで確此の中に入れて置いたのになくなつちまつてるの。誰かに盗られたのよ。盗つたつて……へえ』

A black and white photograph of a large, oval-shaped object, possibly a lid or a decorative panel, featuring intricate patterns of small circles and lines forming a grid-like design.

布施平八郎 畫  
／＼と輝いた。傍の源之  
は不安らしく伸び上つて  
『千代さん、如何した』  
と低聲に尋ねた。清作  
その後に來て  
『どうしました。早くお  
しなすつて』  
と促立てるやうに言つ

證據はどうした。早く出せ、  
出せないのかおい木村！  
證據はどうした、が、清作  
は懲りとしてしなだれた。  
答へることができなかつた。

清作はあまりのことに駭かれて、身をよじらせる。木村は、さすがに、いつの間にか、立場を失つた。その時川島は立揚つて叫んだ。

產科婦人科井坂醫院

# 時計眼鏡トキヤ

東は角 柏木 お前は貴  
任があるぞ。

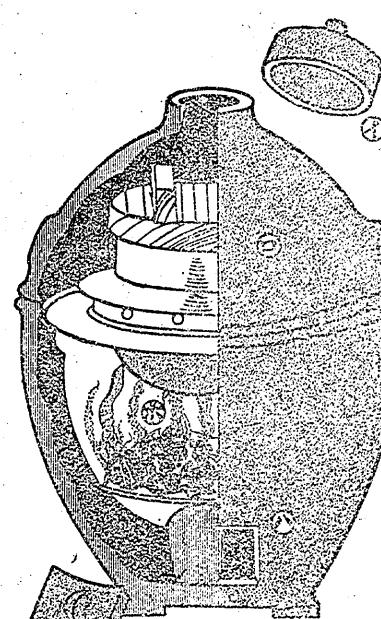
『盗まれるやうな所へ仕舞つて置いたのが不注意だ。そんな大切なもののなら自分の肌身にでもつけて置けばいいのに……』

て、口惜しさうにがたく  
と足をふるはせながら  
『お嬢様は確にこの箱に入  
れて置きなすつたと被仰る  
んで……紙ツ片らが三四枚  
あつたんですがね……  
どうしきそいつが紛失つた  
のかどうもおかしうげすよ  
…………きつと誰かゞ盜みと  
つて證據を無くしにかゝつ  
たものと思はれますか』

セメント  
壁用材料  
コトルタール  
ペンキ塗料  
ガラス

◎本品にニセ物有小鉗式に御注意

新案特許



製造販賣元寶